

委員会審査の報告

(9月定例会で委員会に付託された議案等の審査を行いました。)

総務企画委員会 委員長 松徳 憲二

◆大洲市自家用有償旅客運送条例の一部改正について

説明 今坊地区と長浜地区を結ぶデマンド型交通について、今坊長浜線として本格運用へ移行することに伴い、運行区域等の必要事項を定めるため、条例を改正するもの。本格運用となった場合には、毎週月曜日と木曜日の週2日、往路1便、復路2便の運行となる。

問 運賃設定で「地区内」と「地区外」で差を設けているが、「内外」とはどういった意味か。

答 現在の公民館区域の内外の区分で、乗降場所がともに同じ地区内である場合と、乗車場所と降車場所が異なる公民館区域の場合に異なる運賃を設定しており、地区内の場合は大人150円、地区外の場合は300円という運賃設定をしている。

問 復路2便の運行時刻の間隔が短い、そうなることと目的地での移動が制約されるため、運行時刻の間隔に幅を持たせてはどうか。

答 今回の時刻設定に当たり、特に利用する高齢者の意見として、できるだけ昼までには帰宅したいとの声が多く、1便目を11時22分、2便目を12時30分と設定した。今後、利用者の意見や地元自治会との協議によって時刻の変更も可能であるため、地域の実情やニーズに応じた運行に努めたい。

《令和5年度大洲市一般会計補正予算》

◆青島浮棧橋の渡り橋について

説明 定期船「あおしま」が青島に着岸、上陸する際に使用する浮棧橋の渡り橋について、島側接続部分だけでなく渡り橋自体の腐食が著しいことが判明し、当初予定していた溶接による修繕が不可能になった。渡り橋を新しく製作し現地に設置する工法に変更するため、不足する工事費を追加計上するもの。

問 船を物揚場や防波堤に直接着岸させ、船からタラップを架けるなど、経費を抑えた工法の検討はしているか。

答 干潮時は物揚場や防波堤付近の水深不足によって船が着岸できず、また、満潮時の水深が確保される場合であっても、船と防波堤等の乗降位置の高低差が大きく、船の構造上タラップによる上陸はできないと判断した。

問 航空写真では他にも浮棧橋が確認できるが、それらの利活用を検討しなかったのか。

答 内港部に設置されている浮棧橋は漁船用であること、定期船「あおしま」は水深の関係により内港部への侵入が非常に困難であること、定期船と漁船では乗降位置の高さが異なるなど、内港部の棧橋は定期船の使用には適していないため、専用の浮棧橋を使用している。

問 一時期ほど「猫島」としてクローズアップされていないが、現在の観光客の状況は。

答 定期船「あおしま」の乗降客の状況としては、往路便と復路便を合わせて、令和3年度が4,693人、令和4年度が7,813人であり、令和5年8月現在は、4,071人で、前年同時期比較で180人の増となっている。青島の猫は不妊・去勢手術を全頭完了し、穏やかな生活を送っている状況であり、観光客もそういう猫を温かく見守っている。マナーも以前に比べ格段に良くなっており、最近では観光客とのトラブルは起きていない。

要望 工事発注を速やかに行い、年度内の工事完了を目指してもらいたい。観光客のマナーも良いとのことであるが、今後とも島民と猫が静かに暮らしていける環境にご配慮いただきたい。

厚生文教委員会 委員長 武田 典久

◆大洲市印鑑条例の一部改正について

説明 本年5月に電子証明等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律が改正されたことに伴い、スマートフォンに電子証明書が搭載可能となったことに対応するため、条例の一部を改正するもの。全国のコンビニエンスストアの店舗に設置されている多機能端末機から各種証明書を取得